

VOL.2

樟

くすのき

樹

同窓会誌

愛媛県立新居浜西高等学校同窓会



「真心の墨滴」海部総理大臣の揮毫 —— 記念会館内の記念の品々 ——

内閣総理大臣 海部俊樹氏の書が、記念会館の3階作法室に掲かっている。だが、あまり知られていない。

「向無限」の扁額は、肉太い堂々たる墨跡で、見入っていると吸い込まれてくるようである。欄間にかかる扁額は、茶道クラブのけいこを見守っている。

なぜ、海部総理の書がここにあるのか。新居浜西高等学校創立70周年の年に、当時の同窓会長であった下村隆勇氏が、海部代議士にお願いして書いていただいたもの。海部氏によると、「この書を書くのに、朝早くから墨をすり、何回も下書きして、一日掛りで書きあげました…」とのこと。

海部氏は、その年の内に総理大臣になられた。

表紙写真は、一宮神社の一番樟（撮影：田尾忠士氏）



先輩の遺徳を讃え
「西高らしさ」を



同窓会長
世良 誠 朗

わが母校は、大正六年の創立以来、幾多の変遷を経て、来年初立七十五周年を迎えます。

今日、同窓会は東京中心に関東樟樹会、大阪中心に近畿くすのき会、そして松山支部とそれぞれ全国のあらゆる分野において健在であり、活躍しておりますことは、誠にご同慶の至りであります。

二十一世紀まであと十年、ものすごい苦難の時代とも、素晴らしい輝かしい十年ともいわれており、求められているものは何か、それは第一に、ギリギリの決断材料としての正確な世間の情報であり、第二に、その情報を生かされるだけの知恵と実戦力であり、第三に何がどうなっていくのか、という先見力であるといわれております。

西高同窓会は先輩の遺徳を讃え、これを辱めないよう「西高らしさ」をモットーとして、ふる里のよりどころとなり得るよう、さらに精進してまいります。

昨年、同窓会誌「樟樹」が創刊され、皆様から貴重な感想をお寄せいただき、誠にありがとうございました。第二号は、関係の皆様のご配慮とご理解を賜り発刊の運びとなりました。ここに深く敬意を表しますとともに、改めて厚くお礼を申し上げます。

同窓会誌第2号の
発刊を祝って



校 長
三 木 忠

昨年の初夏、故郷一宮神社の大楠を表紙に、立派な「樟樹」創刊号が発刊され、多数の同窓の方々から絶大な賞賛がありました。本年ここに引き続き第二号の刊行、まことにめでたくございます。同窓会も、母校も、この大楠にあやかりたいものであります。

さて、母校は、本誌「母校の概況」「クラブ活動」等で紹介されますが、日々発展しております。特に大学進学では、今春も東大をはじめ超難関校、難関校にも、激烈な受験競争の中で多数の合格者を出しております。

しかも、勉学と部活動を両立させた者も多く、文武両道が着実に進んでおります。部活動も活性化し、今年は百五十余名が県総体に出場し、よく健闘しました。特に陸上、バトミントン各二名四国大会に進み、男女登山部はすでに全国総体出場を決めております。

また、人間教育も推進され、母校は今や「進学校」から県下屈指の「名門校」に脱却しています。御帰郷の節はお立寄り下さい。

同窓の皆様方の御多幸と御健勝を祈念し、お祝いと御挨拶の言葉と致します。

創刊号についての会員の声

＝41名から励ましの便り届く＝

● 創刊号ありがとう発展を
暑中お見舞い申し上げます。

このたびは、同窓会誌「樟樹」の創刊号をお送りいただきありがとうございます。同窓会の発展をお祈り申し上げます。

- 昭6 渡辺千代通(新居浜市)
- 昭12 伊藤美智子(宇治市)
- 昭23 松平 淑子(横浜市)
- 昭24 岩田 栄子(茨木市)
- 昭24 島谷恵美子(千葉市)
- 昭24 田中 英子(東京都清瀬市)
- 昭27 山本喜久子(東京都)
- 昭28 岡沢 宏(高松市)
- 昭28 岡田安紀子(羽曳野市)
- 昭28 友澤 正思(千葉市)
- 昭30 北脇 重康(京都市)
- 昭30 三谷貴久子(丸亀市)
- 昭32 森山カナミ(松山市)
- 昭32 坂本 宏子(福岡市)
- 昭33 桑原 糸子(相模原市)
- 昭33 林 啓子(大阪府高石市)
- 昭37 永井 泰子(広島市)
- 昭38 北浦 宏子(大津市)
- 昭39 佐野真由美(福山市)
- 昭40 小林多美子(名古屋市)
- 昭40 大井 秀喜(大阪府泉南市)
- 昭41 下崎たけ子(大阪市)
- 昭41 藤田あけみ(横浜市)
- 昭44 藤原 耕介(徳島県板野郡)
- 昭47 三原 和子(豊中市)
- 昭56 藤田 剛史(新居浜市)

● 走馬燈のように50年前が

五〇年前の女学生時代の新居浜が、走馬燈のようにかげめぐります。なつかしさと

うれしきでいっぱいです。

昭14 萩原 タエ(山形県南陽市)
● 忘れない四恩の鐘のこと

四恩の鐘が懐しく、当時は思い出しました。年々歳々、御校も発展され昔の面影は最早やありませんが、四年間の学びの舎は、生涯忘れません。

御地を離れて四二年になります。移り行く故郷の様子が、この号で分りました。

昭16 加藤 恒子(府中市)
● 会員の輪が大きな和に

会員の方々のご発展、並びに会員の方々の輪が、大きな和となりますよう、お祈りいたします。

昭34 鈴木美津子(西条市)
● 10年ぶりに懐かしい思い

もう一〇年も帰省しておりませんので、とても懐しく読ませていただきました。

昭39 望月 鈴子(川越市)
● 埼玉に移り長男と同居

私共、此度、新居浜より長男の所で同居致すことになりました。今後共よろしくおねがい致します。

昭11 岡 敏子(埼玉県北本市)
● 楽しみ来年の同窓会

来年、新居浜で同窓会がありますので、たのしみしています。

昭20 増田 逸子(豊中市)
● 待ちにまつた恋人に...

会誌の発行おめでとうございます。待ちにまつた恋人に逢ったみたいなきがいたしました。

昭27 本宮 和代(今治市)
● 何かを作りあげる困難

始めて、何かを作りあげることの困難さはよくわかり、ご苦労お察し致します。

昭29 松田 良子(調布市)
● じんわりと心に母校が

素晴らしい校舎に、母校が遠くなったような寂しさがありました。が、「樟樹」を手にしてみますと、じんわりと心に母校が広がって参りました。

祝吟 樟樹よ茂れおんなじ輪の誇り

昭29 井原 満子(新居浜市)
● なつかしい貴重な情報

支部もない広島ですので、貴重な情報、なつかしく拝読いたしました。

昭30 中川 聡子(広島市)
● 次回の会合を楽しみに

会合の時には、何かと都合が悪く出席できずに残念に思っております。次回、楽しみにしております。

昭29 中原ひろみ(京都市)
● 同窓生同志の結婚です

私共は、同窓生同志の結婚です。代金は二人分送りますが、会誌の発送は一冊で結構です。よろしく願います。



小・中・高等学校制服指定店

稲井洋品店

新居浜市登道サンロード ☎35-2000

ジーンズショップ



☎35-2000

ワークショップ

稲井

☎33-8500

(普42年卒 稲井本道)

「樟樹」

昭42 田中 正則(大東市)
なつかしく何回も読む

「樟樹」創刊号を、なつかしさのあまり何回も読みました。地名が出るたびに思い出され、新居浜市が発展することを、心から喜んでいる次第です。

昭27 宇高 昭恵(草加市)
母の仏前に供えます

母、岩津静枝(昭5)は、昭和五七年八月三日に死亡しました。六七歳でした。六号まで申し込みます。仏前に供えてやりませう。長男 岩津 正昭(横浜市)

● 同窓会費の一部にして

上野 安美(福岡県田川市)
● 通算五年通った母校
昭和二十年、女学校に入学。終戦。第一高等学校、西高と改称され、昭和二十五年、通学区制により東高に移籍した者です。
通算五年間の母校です。懐しさから、会誌を読んでみたいと思います。よろしく。
昭22併 安岡 恵子(新居浜市)

会員からの便り

川上先生の学校葬のことは今も胸に

昭6 尾川 真佐

いちばん心に残っていることは、学校に最も古くから居られ、お母さんのように思われていた川上先生が、ご病気で他界され、学校葬が行われた時のことです。

白石先生の弔辞に、支那へ旅行された時、川上先生が神戸までお見送りになり、「校長さん、元気で行ってください」と声をかけ、一宮神社のお守りを首にかけてくれた、という話がありました。

母とも姉とも思っていた川上先生を亡くし、言葉が詰まり、ハンカチで顔を押しさえられた時は、講堂にすすり泣きの声が広がりました。その情景は、今でも胸に残っております。



昭6 東京、大阪、箱根などで同級会

私も同級会を、東京、大阪、箱根で行いました。箱根では、星田先生にお会いでき、何十年もお目にかかっておりませんのに、皆の名前をおぼえていくくださり、うれしく思いました。宿では枕を並べ、夜中まで話し合うのが唯一の楽しみです。最近では、寄る年波で、一人欠け二人欠け、淋しいことですが、最後の二人になっても続けようと申し合わせています。

もう一度歩いてみたい真夏の遠い道

昭17 近藤 雍子

朝から夏の太陽がジリジリと照りつける中を、新居浜の西の端から東の端まで、七キロ余りの道のりを、林間学校へと歩く。

垣生の八幡さんの涼しい境内で、蟬しぐれを聞きながら二時間の授業を受けた後、袖付の黒い水着に着替えての水泳である。泳法は横泳ぎ。沖に向かって櫓まで泳ぎ、一人ずつ飛び込む。櫓は六〜七メートルの高さ。

先生の掛声に意を決し、目をつむつて夢中で飛び込む。まっすぐに飛び込んだつもりなのに、したたかにおなかを打った。体はつぶれそうでおなかはヒリヒリと痛い。私の楽しい思い出の一つである。

帰り道もまた遠い。夕立に備えての黒いこうもり傘を、日傘代わりにして白い道を歩く。

乗せてもらえないバスが、砂ぼこりを巻き上げて走り過ぎるのを、息をこらしてやり過ごす。ふと道端の畑を見ると真っ赤なトマトが、二〜三個ずつかたまつて艶々と光っている。

お弁当は梅干一つの日丸弁当だった。おなかもすいた。のども乾いている。あ、あれを「ガブツ」と食べたいな。思わず立ち止まって、じつと見つめる。口の中に、あのトマト独特の味が広がる。フウツとため息をついてまた歩き出す。

垣生の人はいいなと思いつつ、やがて元塚まで来た。黒い傘は太陽を受けて、ムンムンしている。店先の水道を借りて傘をぬらし、後半の道を歩き出す。

往復約四時間の道のりを、毎日通った林間学校。今なら車で十五分ほどの所だろうか。梅干弁当一つで、それを当たり前のこととしてやり通した。

何の娯楽もなかったけれど、それなりに楽しかった女学校のころ。あれから半世紀が過ぎた今、もう一度あの遠い道を歩いてみたいと思う。

株式会社 **SSK コンピュータ**

〒792 愛媛県新居浜市庄内町4-1-15
TEL (0897) 32-3211(代)

代表取締役

秦

代表取締役会長

秦

憲 司 (普41年卒)

一 子 (普17年卒)



本部

会員名簿の発行について検討に入る

▽四月二三日 平成二年度会計など監査。

▽五月一〇日 同窓会だより「樟樹」第二号発行についての委員会開催・テ

ーマ・記事の内容・担当者の役割を決める。

▽五月二日 第一回常任委員会 議題 ①平成二年度事業報告 ②平成二年度会計決算及び監査報告 ③平成三年度事業計画及び予算案審議 ④会員名簿の発行について ⑤その他

▽六月三日 第一回理事会 五月二二日の常任理事会での議事承認。

▽六月二四日 第二回常任理事会 本年度の総会にむけて。場所・会員券販売・運営役割分担・新聞広告・チラシ

本部・支部だより

同窓会本部・支部事務局所在地

近畿くすのき会事務局

〒530 大阪市北区西天満4-8-2
北ビル本館6階601号
加藤法律特許事務所内
☎06-363-3743
会長 加藤 幸則
幹事長 鈴木 英夫

松山樟樹会事務局

〒791 松山市六軒家2-30
(株)松山キャノンOAシステム内
☎0899-23-6666
会長 佐伯 直行
事務局長 川井 義和

同窓会事務局

〒792 新居浜市宮西町4-46
新居浜西高等学校 記念会館内
☎0897-32-4331
同窓会長 世良 誠朗
事務局長 大西 章夫

東京樟樹(クスノキ)会事務局

〒101 東京都千代田区神田神保町1-16-3
TSI神保町ビル3F
(株)マーケティングディレクションズ内
☎03-3219-4821
会長 秋月 正
事務局長 高橋 知之

を配る件について協議。

▽七月三日 第二回理事会 六月二四日協議された件を承認。

▽八月二日 第三回常任理事会 総会開催について準備打ち合せ。

▽八月三日 同窓会総会及び懇談会 場所 市内泉宮町 ユアーズコープ

時間 一七時三〇分から 議事 ①平成二年度事業報告 ②平成二年度会計決算及び監査報告 ③平成三年度事業

計画及び予算案審議 ④会員名簿の発行について ⑤その他 引きつづいて

一八時三〇分から同場所において懇談会 会費二千元

▽十二月月中旬 第四回常任理事会 平成三年度の反省・平成四年度の予定

平成四年二月中旬 平成三年一二月に審議された件協議。

▽二月下旬 同窓会入会式 記念品贈呈

授与。

▽三月二日 卒業式において同窓会賞 授与。なお、会員名簿発行に伴う臨時の常任委員会や、同窓会だより発行の委員会が開催される。

別子銅山300年の宴のあと

『住友城下町』混沌

結城三郎著
(ダイヤモンド社)

1,500円

別子開拓300年に当たり、新居浜市出身の著者が住友別子、新居浜との関係をドキュメントにまとめている。

定時制卒業生の集い 望洋会総会開く

昨年の一二月三日 市内高木町のふじ結婚式場において、定時制卒業生の集まりである「望洋会」設立総会及び懇談会が始めて開催されました。

来賓として県会議員小野義章様・新

居浜市教育長伊達孝様・恩師 佐藤三佐男・曾我部忠雄・越智信美・山本登の各先生方をお迎えしました。会員も遠くは大阪市・観音寺市・松山市その他市外から大勢はせ参じ、用意していた会場がいっぱいになるありさま。世話人も、多くの方々の出席に、世話をした甲斐があったと喜びでいっぱいでした。

した。

懇談会は、盛大で賑やかに盛り上がりました。カラオケで唄う方、日本舞踊を踊る方、久し振りに会った同級生同志は、頬をすり合わせればかりに時間を忘れて話しこんでいました。このような情景から、このままこの会が続いて行ったらなあと感じました。時間は刻々と経ち、お開きの合図と

して、同期の桜と星影のワルツを全員

で合唱しましたが、帰る人はおらず最後の最後まで名残りを惜しみ、人の輪は崩れませんでした。そんな姿を見ると、これからの望洋会の発展を見るようでした。参加してくれた人も何かを思い出し、何かをつかみながら帰途についたことと思います。

会員からの便り

修善寺で同期会

昭33 永易 光代

平成三年二月九日、昭和三三年度の同期会の案内状を手に、静岡の修善寺



に向けて新居浜を出発。その列車に、伊予市、高松、大阪、奈良、宝塚方面からの人達が合流。三島駅からは、東京、埼玉、静岡からの人が加わる。総勢四三名が、三二年ぶりに集い、昔話にはずみしました。

明朝は、修善寺にお詣りをし、観光バスで名所を巡り、イチゴ狩りを楽しみ、旧交を温めながら帰路につきま

京都で還暦祝う

昭25 S・I 記

私達は、旧制女学校の最後にあたる昭和二十三年卒業者と、その後二年間の勉学を続けた昭和二十五年の新制高校卒業者の集まりです。何年かごとに、新居浜・松山で会合を開いていますが、今年は一六歳の還暦記念の集まりで、平成三年三月二八日、京都宝ヶ池プリンスホテルで開催し、五〇名近くが参加しました。

「いやー〇ちゃん」「うわー元氣」それだけで昔の友に返り、近況報告、思い出話、これからの抱負など、笑ったり泣いたり、あつという間に時間が過ぎ、名残り惜しい閉会でした。

新居浜弁で爆笑

昭17 溝田 民子

四恩会の第六回目のクラス会を、四月二五、二六日の両日、讃岐の塩ノ江



温泉で開いた。関東、関西、四国各地から三六名が参加。

宿では、女学生時代の愛称で呼び合いながら、近況や孫の話など、新居浜弁で語りあった。宴会が始まると、カラオケ、詩吟、日本舞踊などを披露。各部屋に分かれてからも、遅くまで話はずみ、爆笑が起こっていた。

翌日は、大窪寺に参り、屋島、四国村、栗林公園を散策し、来年の再会を約して、楽しい二日間をしめくくった。

平成4年度会員名簿発行

予約受付は91年9月から

西高同窓会事務局

動きの歩み



幾度登っても違った姿を見せる石鎚

五月の連休、石鎚山系では雪が降った。異例のことである。じっと立っていると眉毛が凍る。寒さに震えながら夜を明かした。

翌朝、暗いうちから動き出す。行動中にまわりが明るくなってくる。そして、山頂付近一面の木々は霧氷に覆われていた。三六〇度が見渡せる晴天下での霧氷。幾度となく登った石鎚山ではあるが、その都度違った姿を見せ

てくれる。昨夜、寒さに震えていたことなどすっかり忘れてしまった。夏、バーベキューの道具を背負いエッチラオッチラ登る。疲れたら休む。ワイワイ言いながら肉を焼く。慌てて服の袖口まで焦がす者もいる。キャンプ場の芝生の上に寝そべって満天の星を眺める。消灯時間が迫っているのだが「まあ、もうちょっと」と思う。

上級生ほど苦しい 思いをする登山部

本校登山部の伝統は古い。部室を整理していると、昭和三〇年代の登山計画書が出てきて感動したりする。その当時は、競技登山の形式がまだ確立されていない、純朴な登山をしていたのだ。

今日では、本校登山部は、競技登山を中心に動いている。競技は過酷だ。体力だけではない。読図力、山岳知識、気象知識、救急知識、設営などあらゆる面を総合的に競う。歯をくいしばり、喘ぎながら、半ば泣きながら登っている選手を見ると、「もう充分だ。もうやめよう」と言いたくなる時もある。競技登山に疑問さえ感じる。

しかしその一方で、全国大会へ出場して、多くのかけがえのない経験を積んで、閉会式では感激に涙を浮かべている選手を見ると、やはり勝たねばならないとも思う。幸い、登山部には素晴らしい伝統が

息づいている。上級生ほど苦しい練習をする。一年生を早めにあがらせた後で上級生は黙々と練習をする。誰よりも苦しい思いをする者こそが、上級生であり、リーダーであるということも誰かが認識している。

平地においても山においても上級生が下級生をいたわり、かばう。考えてみれば当たり前のことだ。だが、当たり前のことが当たり前で通るこの伝統の下で、大会でも好成績を残してきた。

県総体で男女優勝

今年の六月三日から五日にかけて行われた県総体では、男女ともに優勝を果たした。これにより、静岡県南アルプス山系で行なわれる、インターハイへ出場することになった。結果がどうなるかわからない。ただ、確かに言えることは、仮りに、勝っても、あるいは負けても、彼ら、彼女らには、涙を流す資格がある。

五年間の主な成績

昭和61年：男子インターハイ山口大会
出場第4位

昭和62年：男子インターハイ北海道大会
出場第10位

昭和63年：男子県総体4位四国大会出場権獲得

平成2年：男子県総体4位四国大会出場
女子インターハイ宮城大会
出場第10位

信頼される旅づくり

ツーリストは旅の情報ステーション



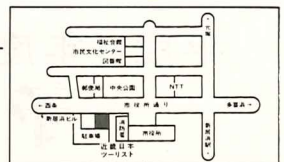
近畿日本ツーリスト

新居浜支店

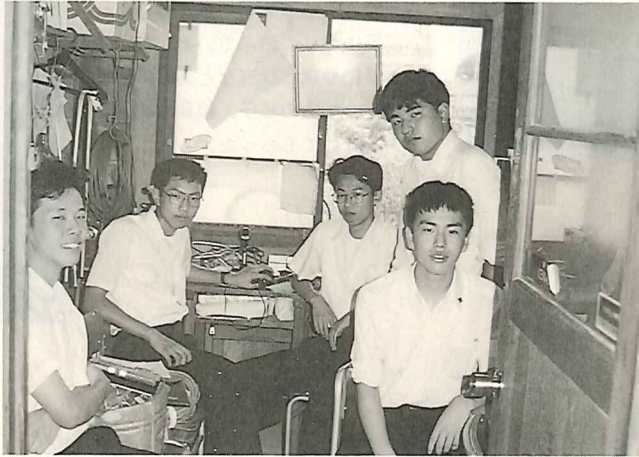
☎(0897)37-2431(代)

FAX (0897)(32)5314

●営業時間：平日9:30～17:30 土曜日9:30～12:45 日曜・祭日は休み



新居浜市一宮町1-5-50
(新居浜ビル1F)



アマチュア無線を
パソコン活動軸に

物理部では、主な活動内容としてアマチュア無線、パソコン活動を中心として活動しています。とくに、アマチュア無線の方は活発で、数々のすばらしい成績を残してきました。パソコンの活動は、無線の方ほど活発ではありませんが、西高祭ではコンピュータ占いを作って活動したり、こちらの方も物理部には欠かせません。

それでは、この二つのうちの一つ、

アマチュア無線の方についての活動内容をもう少し詳しく紹介します。活動場所はいつともは部室ですが、全国単位のコンテストがあるときなどは、校舎の普通教室を活動場所としたり、夏には金子山まで行って活動します。金子山へ移動する時は、アンテナや無線機、その他もろもろの必要な工具など、たくさんもの運ばねばなりません。コンテストは二四時間中やるといってもあり、体力もいります。しかも体力だけでなく、無線に関する法規や工学の知識も必要になります。さらに、免許がなければ無線はできません。そのため、毎年入部してくる一年生には、免許取得のため、勉強してもらっています。成績を記します。

体力と知識が必要

このように、物理部は体力面でも知識の面でも、それなりのものを要求されます。学校内では、いまだに物理部が何をしているのか知らずに、物理部は変なことをやっている、という見方があるのは事実です。

しかし、それもこの物理部の活動内容を知らなければ、なくなるものと思います。コンテストなどは休日に行われているので、あまりその存在を知られていませんが、これからも物理部をよりよく理解してもらえようがんばりたいと思います。それではここで今までの成績を記します。

物理部の輝かしい成績

- ▽昭和51年 ALL CITY四国第一位
- ▽昭和52年 ALL JA四国第六位 Field day四国第三位 愛媛マラソンコンテスト第六位
- ▽昭和53年 ALL JA9 四国第一位 ALL CITY四国第一位
- ▽昭和54年 ALL CITY四国第一位 ALL JA四国第二位
- ▽昭和55年 Field day四国一位 全市全群コンテスト全国第十位
- ▽昭和56年 Field day四国一位 東海QSO四国二位 ALL JA四国三位 全市全群全国九位
- ▽昭和57年 Field day全国十二位 ALL JA四国二位
- ▽昭和58年 東海QSO四国一位 ALL J A全国九位 6M And Down四国一位 Field day全国一位
- ▽昭和59年 Field day全国六位 ALL JA全国八位 全市全群四国二位
- ▽昭和60年 Field day全国七位 6M And Down四国一位 全市全群四国三位 ALL JA四国二位
- ▽昭和61年 ALL JA四国二位 Field day四国三位 全市全群四国四位 ALL JA8全国六位
- ▽昭和62年 東海QSO全国一位 Field day全国六位 全市全群全国五位 東海QSO全国一位
- ▽昭和63年 ALL JA四国一位 Field day全国六位 ALL JA四国二位
- ▽平成元年 ALL JA四国一位 Field day全国三位
- ▽平成2年 ALL JA四国十一位 Field day全国四位
- ▽昭和59年 y全国八位

ワープロスクール

ワープロイン新居浜

〒792 新居浜市北新町1-1
TEL(0897)33-1156
FAX(0897)32-8155

宝石・コンピューター

有限会社 蝶野

(株) 電腦開発研究所

新居浜市北新町1番1号 TEL(0897)33-1155
松山市保免西1丁目1-1 TEL(0899)73-3333

母校の概況

母校の建物や環境は、時代とともに変化している。しかし、そこに学ぶ後輩たちは、伝統を受け継ぎながら、若さと情熱を燃やし、たくましい校風づくりに励んでいる。

部活動や進学状況など後輩の活躍ぶりと、校庭の様子、教員の異動などを紹介してもらった。

物理部は全国二位 放送部は県で優勝

平成二年度は、県高校総合文化祭が開催され、美術部・書道部など多数の部が参加した。また、前前年に続き、物理部、放送部の活躍は目覚ましく、物理部は、全国大会三位、A L L J A コンテスト四国一位など、他のコンテストにおいても優秀な成績だった。

放送部は、第二九回県学校放送コンテスト(テレビ番組自由部門)で優勝するなど、意欲的な活動をしている。その他の部においても、各方面で活躍し、地道な活動を続けている。

進学校のハンディ をはね返す体育部

進学校というハンディを背負っているにもかかわらず、各部ともにまずまずの戦績をあげている。

活躍の顕著な部を紹介する。

〈登山部男子・女子〉今年度は、男女共にインターハイ出場を決めた。女子は、三年連続の全国大会出場である。アベック出場は、他校にもない記録である。

〈陸上競技部〉今年度は三谷政史が四〇〇、八〇〇で県優勝。四国大会でも優秀な記録を残し、インターハイ出場を決めている。八〇〇メートルは県総体大会記録である。

〈サッカー部〉新人戦で東予地区優勝を飾り、インターハイ出場を目指していたが、惜しくも県総体ベスト16で敗れた。

〈バドミントン部〉ベテランの逸見監督を迎え、女子は久々の四国大会出場を決めた。〈野球部〉毎日の練習が功を奏し、一回戦敗退がほとんどなくなり、昨年度春季大会ベスト8、夏の大会ベスト16と立派な成績をあげた。紹介はできなかったが、他の部も四国大会や県大会で優秀な戦績をあげている。

激動する入試の中 で輝かしい実績を

近年の大学入試は、国公立大学におけるA B日程の減少、分離分割方式を採用する大学の増加、さらには、私立大学の一部も参加する「センターテスト」の実施など変化が激しい。

こうした激動する入試の中で、生徒たちは、西高の伝統を受け継ぎ、さらに飛躍させるべく努力し、輝かしい成績を収めている。

最近三年の合格者数と、その一部をここに紹介する。(数字は人数)

	(元年度)	(2年度)	(3年度)
国公立計	二九五	二八四	三〇三
私立計	二五四	二九八	三八七
東京都大	六	五	五
京都大	六	四	四
大阪大	一〇	一〇	六
神戸大	七	四	七
広島大	一〇	一六	二二



ウエディングパレス

ふじ

新居浜市高木町3-2 TEL(0897)34-2211(代)

鷺尾翁の業績を 讃え胸像建つ

鷺尾勘解治（かげはる）翁の胸像の除幕式が、平成三年五月一日、菊本町・自張舎の前庭で行われた。式には市の関係者、住友五社代表、益友会の会員、その他翁の遺徳を讃える人など六十余名が参列した。

鷺尾翁は、新居浜市の発展の基礎を築いた人物として、評価されている。この翁の業績を今日まで支えてきたのが、翁の教えを受けた住友のOBの方方や、論語を学ぶ人たちで組織する益友会（村尾福乗会長）である。

翁は、一九八一年四月、この新居浜の地で御齡百一歳で終焉されるまでの二七年間、第二の古里ともいえる新居浜で、益友会を創り、成人・熟年の教育に努められた。

これには、一九五四年、合田正良氏（故人）が発起人となって、翁を当地にお招きしたことに始まる。翁は、一九〇七年から住友を依願退職される一九三三年までの約二〇年間に、新居浜市に多くの遺産を残されている。

まず、翁は、若くして禅の修行をされた。そして、孔子に心酔され、論語と禅の精神をもって世直しの実践をされた。自ら坑夫になり、私塾を開設、勤勞奉仕で山根グラウンドや、昭和通りの造成を、有志の協力を得て完成された。

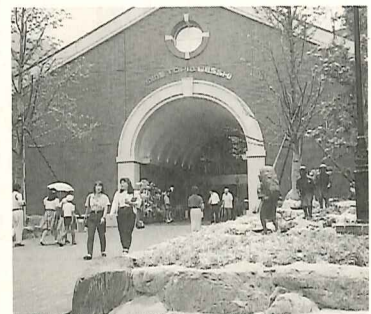
また、翁は、別子銅山の閉山を早くから予測し、新居浜の後栄策として、地場産業の育成、機械工業、化学工業などの基幹産業の誘致に当たられた。そのために必要な、築港、交通体形の設備などを打ち出している。

鷺尾翁が新居浜を去ったとき、後栄策は、頓座しかかった。しかし、翁の志を継承しようという、在野の有志がたくさんいて、軋轢の中、関係者と英知を出しあって、今日の住友グループ、新居浜市をつくりあげたといえよう。現在、その証として、昭和通りには、共存橋、共栄橋という二つの橋がかげられている。

時を同じくして、鷺尾翁を題材にした越智大円作の小説「工都（まち）の黎明（よあけ）」が発刊され、市内の図書館、公民館、学校に贈呈された。

三〇〇年記念の行 事に市民も参加し

別子開坑三〇〇年の記念行事は、平成二年一月一日から四日まで、報恩



市民でにぎわうマイントピア別子

法要や神事などが行なわれた。別子銅山記念館前では、歌碑の除幕式が挙行され、住友家一七代友成氏（八一歳）が詠んだ「この銅山（やま）を神とし仰ぎ幾代かも掘りつぎて来（こ）しこの畏（かし）こき」が、銅板に刻まれている。（関連記事十二ページ）

また、リーガロイヤルホテルでの式典には、住友グループ二社の代表が勢揃いし、「結束の住友」と新聞は評した。地元からも、伊賀知事をはじめ三三〇人が出席した。

その他、関係行事として大鉾祭、市民による「仲持ち」行列、「せつとう節」の披露、別子銅山産業文化フォー

〈新居浜の動き〉

●マイントピア別子がオープン●

ラム、第二回産業技術フェスティバル「新居浜メッセ90」、「旧別子跡（銅山の里）探訪」、南海放送のTVワールド「新居浜21世紀への発進」の放映など、多彩に行われた。

中でも、山根総合運動公園で行われた「新居浜メッセ90」には、三日間で延九八、〇〇〇人の市民が参加した。泉寿亭跡には、超近代的な図書館が住友グループにより建設中である。

レトロ調のレンガ 張り銅葺きの建物

先に紹介した、南部観光開発の最初の事業として、「マイントピア別子」が、四六億円を投じ、新居浜市の活性化をなすべく、平成三年六月五日、オープンした。

一―号線から一五分ほど、国領川沿いに別子ラインを上がると、斜張橋が目に入る。その奥に、緑の深山によくマッチした、レンガ造りの新しい建物が、以前からそこに在ったように、静かにおさまっている。

別子銅山の採鉱本部や端出場駅、発電所のあった場所、敷地は一三ヘクタール。ここに、メイン施設「端出場記念館」が、明治をイメージした銅板葺き、赤レンガ張りのレトロ調の姿を見せる。鉄筋四階建て、延べ面積四、八八〇平方メートルのゆったりとした広さ。

内部は、一階が金、銀、銅などの民芸品売場。二階はレストラン、会議室

セットで
好評発売中!

汎用CAD&CAMソフト

実寸法師

+

KOMATSU

ファインプラズマ
加工機

=

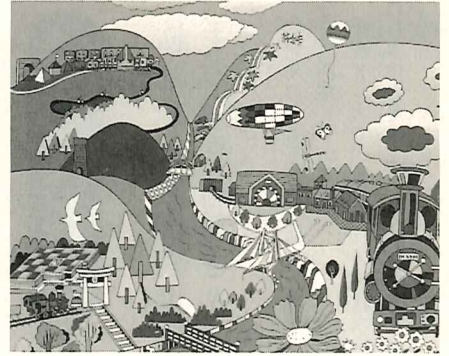
鋼板
直接切断

御社の工程省略にどうぞ。

開発販売元

株式会社タイク

新居浜市坂井町2-3-17 新居浜テレコムプラザ 〒792
TEL:0897-32-9200 FAX:0897-32-6699



など。三階は食堂で、一三〇人の定員で同級会もできる。四階は、天然の鉱泉やハーブ温泉など一三種のお湯が楽しめる。入泉料は大人一、〇〇〇円。二階部分には停車場があり明治調の服装をした車掌の案内で、鉱山鉄道に乗りで、観光坑道の入口まで運んでくれる。

ここは、採鉱用の火薬庫跡で、江戸時代から近代までの鉱山ゾーン、未来や地底の神秘ゾーンなど、一五のゾーンに区分され、蟻人形や光などでファンタジックに見せてくれる。

坑道は、四五分間、携帯用説明機を聴きながら遊学できる。入場料は大人一、二〇〇円。(セット券一九八〇円) 建物の周囲は、遊歩道や桜並木、ステージ、泉亭(一部移設)があり、春は桜、夏は木陰、秋は紅葉の下から深山を眺め、厳冬には温泉から渓谷を観ながら、心身ともにリラックスできるように、自然と一体になった環境に仕上げられている。

南部開発の第二期工事は、東平ゾーンに四五億円をかけて開発中。別子の坑道や史蹟は活用し、輸送は大型ロー

プウェイ(二〇一人乗り)と、ビッグな観光開発がつづく。

松山自動車道の土居・西条間が完成

松山自動車道の土居・西条間(二三・三キロ)が、平成三年三月二五日、開通した。船木の新居浜インターから、マイントピア別子までは約二〇分。

また、西条インターを下りた大生院には、愛媛テクノポリスの東予の拠点となる「東予産業創造センター」が、総工費八億円をかけて、この秋に完成の予定。

つづいて、県が、この近くに「総合科学博物館」の建設について検討するための予算を、六月の補正に計上。完成までに三、四年かかる予定。

このほか、「大永山トンネル」が開通(平成二年二月)し、別子山村まで、新居浜市内から一時間で行けるようになった。

別子山村でも、観光立村をめざしており、住友林業も「中七番」一帯を、南部開発がらみで観光開発を表明(平成二年一月)している。

新居浜市では、広瀬公園を桜の名所にしようと、改修工事を始めた。平成四年の完成予定。また、新居浜東港の西・垣生川の地先には、三五〇隻停泊できる、マリナーが、平成五年の完成をめざしている。

次回は、ソフトな市民の動きを、お知らせする。



白石建設工業(株)

新居浜市久保田町3-9-20
TEL(0897)33-4812 FAX(0897)32-8374

お知らせ

高橋実子先生が歌集「山霧」を出版

西高の教師を勤められた高橋実子先生(宇摩郡土居町)が、このほど、文学に目を開かれてから六〇年間の作品を収めた歌集「山霧」を出版された。

この歌集は、高橋先生の人生の証であると同時に、その大半をともに歩んでこられ、昨年亡くなったご主人への鎮魂ともなっている。

歌集には、「吾が授業待ちいる子等
を思ふ時登校の胸の弾み来るなり」など、千五百首が収められている。

高橋先生から、同窓会へ歌集をいただいている。ご希望の方は、事務局までご連絡いただきたい。

同窓生の活躍

軟庭で日本代表選手 手の津乗弘美さん

同窓生の数も三万人を越え、各々の分野で活躍している。

軟式テニスで、北京アジア競技大会の日本代表選手となった津乗弘美さん(昭55)にスポットを当ててみた。

津乗さんは、西高在学中に二年、三年と四国大会で団体優勝し、インターハイに出場している。神戸大学を卒業後、姫路商業高校の教師となつて六年目。

現在は、生徒の指導中心の生活ではあるが、秋の天皇杯に向かって、少ない練習時間に情熱を燃やしている。

津乗さんから後輩へのひと言。「若い時代に打ち込むものをもって、感激を味わって欲しい。熱い心をもって過ごしてもらいたい」。



日本代表になった津乗弘美さん(右)

歌碑のデザインを した白石高啓さん

別子開坑三〇〇年を記念して、別子銅山記念館(山根)の前庭に、歌碑が建立された。この歌碑は、西高同窓生の白石高啓さん(昭34・ゆにて設計事

白石高啓さんがデザインした歌碑



務所)がデザインしたものである。

歌碑には、住友家第一六代家長の住友吉左衛門友成氏(アララギ派・ペンネーム泉幸吉)が、閉山の前年に詠んだ歌文が刻まれている。

この銅山を神とし仰ぎ幾代かも掘りつぎて来しことの畏こさ

住友吉左衛門

歌碑は高さ約二メートル。台座は御影石、歌文は銅の塊に浮き出している。周りには、アララギが植えられ、露頭や鉱石が置かれている。

デザインを担当した白石さんは、次のように言っている。「一年半の月日をかけて完成した。その間に、全国を回っているいろいろなことを学んだ。おかげで、新居浜や住友がよく見えてきた。歌碑については、来館者が、帰りに

ご婚礼・ご宴会

ユアスコ
YOURS COOP

中華料理レストラン **興慶**

〒792 新居浜市泉宮町5番8号
☎(0897)33-3535(代)



う一度、旧別子の姿を思い出してもら
うことになれば、それで十分」。

平成三年度の同窓 会総会は八月三日

平成三年度の総会および懇談会を、
左記により開催します。お気軽にご参
加ください。

日時 八月三日(土曜日)
総会 一七時三〇分から
懇談会 一八時三〇分から
場所 新居浜市泉宮五―八
ユアーズコープ
会費 二、〇〇〇円

同期会のご案内

☆昭和四三年度卒業生同期会
日時 平成四年一月二日
午後五時から
場所 リーガロイヤルホテル
☎〇八九七―三七―一一二

詳しいことは、一〇月にご案内いた
します。

☆昭和三七年度卒業生同期会
日時 平成三年八月一五日
午後六時から

場所 リーガロイヤルホテル
☎〇八九七―三七―一一二

会費 一〇、〇〇〇円

幹事 新居浜市西之土居町
喫茶「シェリフ」佐野 佳子

☎〇八九七―三四―三九三九

おたずねコーナー

昭和四三年度卒業で、インターアク
トクラブの設立に努力され、初代会長
を務められた、三井哲裕(みい・てつ
ひろ)様のご住所をご存知の方は、事
務局まで一報ください。

会誌のお申込みを

「樟樹」のご購読をお願いします。
創刊号は、同窓会全員に郵送しま
したが、第二号から有料となります。
ご希望の方は、五回分の送料と印刷
代の一部として、一、〇〇〇円を、事
務局までお届けください。
なお、八月三日の同窓会総会の会場
でも受けつけます。あなたからも、同
窓生にご購読をご案内ください。

編集後記

第二号をお届けいたします。創刊号
について、多くの方からご意見や激励
のお言葉をいただき、ありがたく、う
れしく思っております。

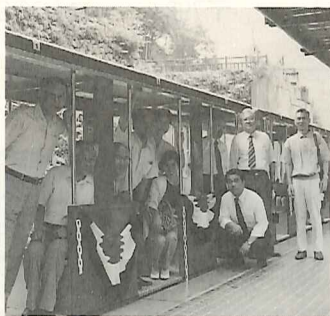
亡くなられた会員のご家族からの、
「仏前に供えるから送ってほしい」と
いうお便りには涙が出ました。心から
ご冥福をお祈りいたします。

「同窓生の活躍」「同期会の案内」
「おたずねコーナー」などを新設しま

した。情報をお寄せください。多くの
会員の皆様からのお便りを、お待ち
たしております。

編集委員一同

- 委員長 武田 信之(普27)
- 委員 加藤 明男(普27)
- 下村 隆勇(普29)
- 安藤 正純(普29)
- 藤田 石根(普30)
- 加藤 正義(普34)
- 近藤 博司(普43)
- 伏見 紀子(普43)
- 藤田 聡司(普45)



マイントピア別子を訪ねた編集委員

同窓会誌「樟樹」第二号
発行所

愛媛県立新居浜西高等学校同窓会
〒七九二

新居浜市宮西町四―四六

TEL 〇八九七―三二―四三三二

発行者 世良 誠 朗

編集者 武田 信之

印刷所 エービー株式会社

発行日 平成三年七月一七日

— 鑄で未来を開拓する —

株式会社 藤田製作所

本 社 工 場/〒793 愛媛県西条市港1-2(西条鉄工団地内) TEL(0897)56-5373・FAX(0897)56-9240
西条東部臨海工場/〒793 愛媛県西条市ひうち字西ひうち3番10 TEL(0897)56-4677 FAX(0897)56-4680
名古屋営業所/〒474 愛知県大府市横根町林新田 TEL(0562)46-1748 FAX(0562)46-6546